

長期漁海況予報について一

(1964年11月～1965年2月 鳥取県沖合の長期水温予報)

小田切 忠 夫

1964年11月～1964年2月までの予報について、次のようにとりまとめたが、これ一応、1年になったので反省してみると、先ず始めに4ヶ月単位の予報は現在行われている鳥取県沖合の浮魚対象の漁業からみると、一寸疑問があり、むしろ3ヶ月単位にすべきと考えられる。第2に水温のみにては指標としては不十分で、やはり塩素量も必要でこれにより相当見方が発展出来ると考えられる。第3に山中一郎氏の云われるエントロピーをこの予報で利用出来れば実際面はともかくとして、研究者としてその方法に自信がもてると考えられる。

いずれ、初年度のことで方法論の検討、発展方向、価値、適中率など実施する年によって提起される問題が山積し今後はこれら問題を一つ一つ解決してより高度の予報が出来るよう努力したい。

実施方法は前回とおなじであるので省略する。

予 報 の 概 要

a	観測点定点図		
b	1964年11月	水温垂直分布図	Fig 2
		50m水平分布図	" 3
		150m "	" 4
c	1964年12月	水温垂直分布図	" 5
		50m水平分布図	" 6
		150m "	" 7
d	1965年 1月	水水温垂直分布図	" 8
		50m水平分布図	" 9
		150m "	" 10
e	1965年 2月	水温垂直分布図	" 11
		50m水平分布図	" 12
		150m "	" 13

FIG 2 1964年11月 水温垂直分布图

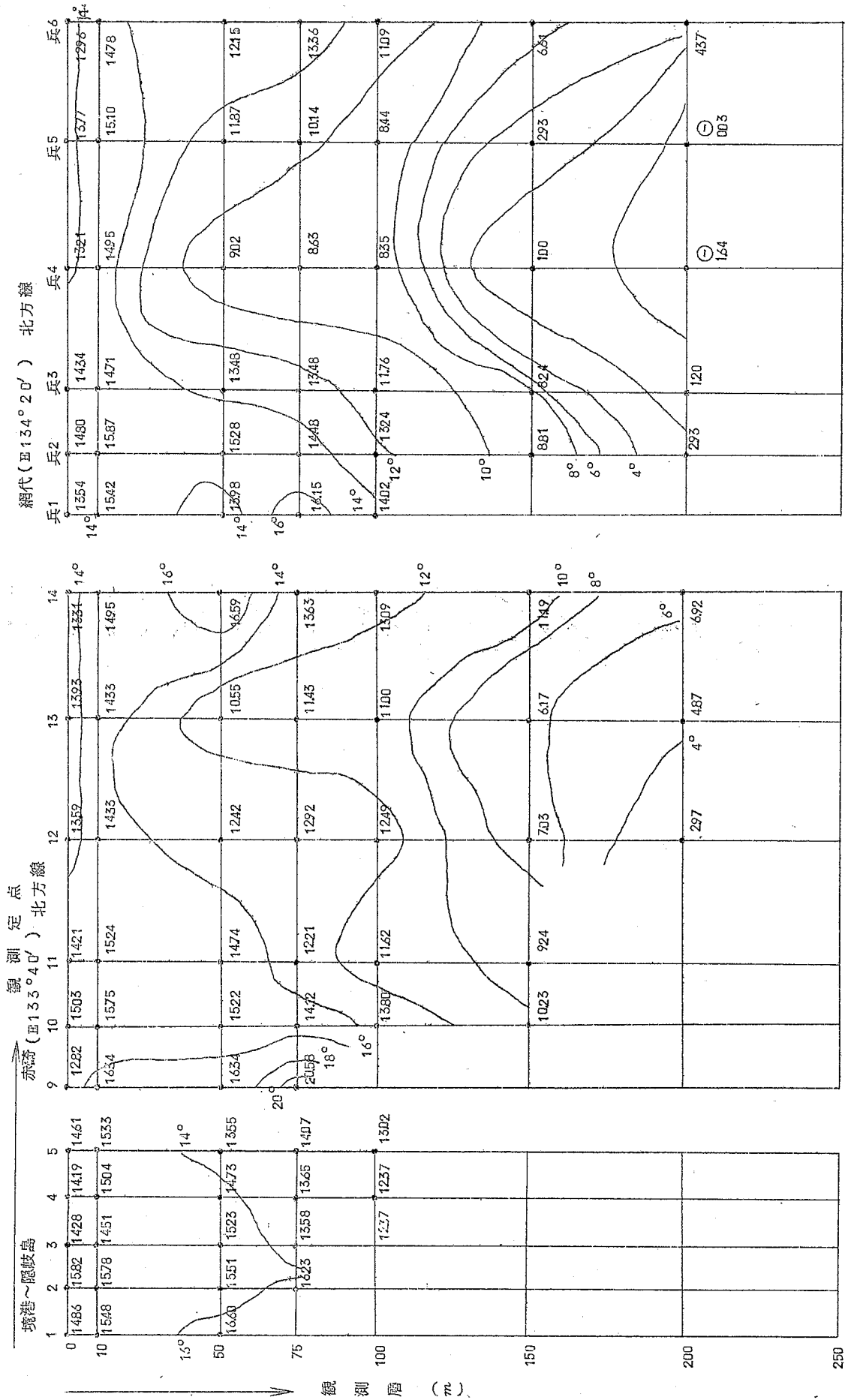


Fig 4 1964年11月 150m層 水温分布図

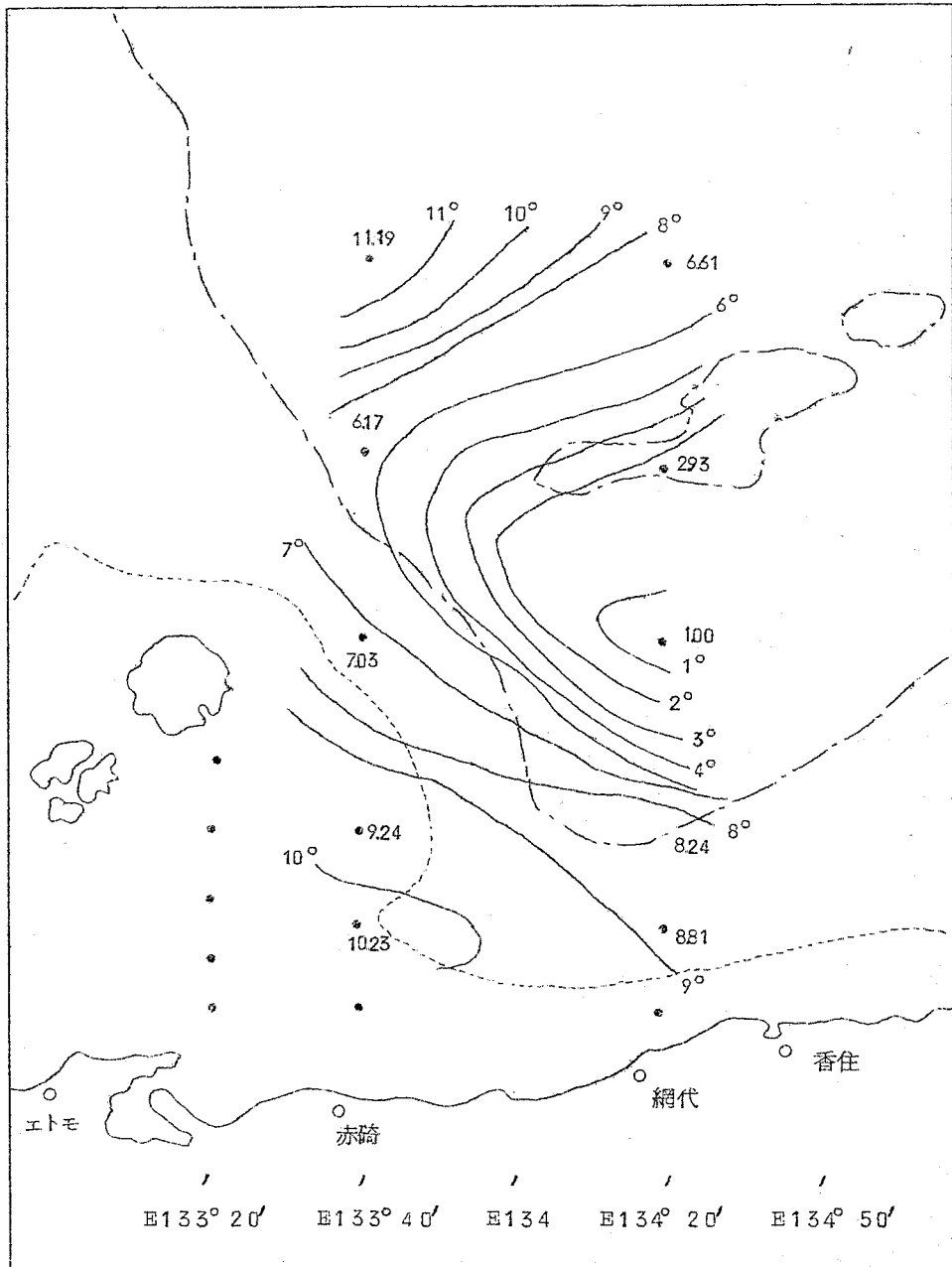


Fig 3 1964年11月 50m層 水温分布図

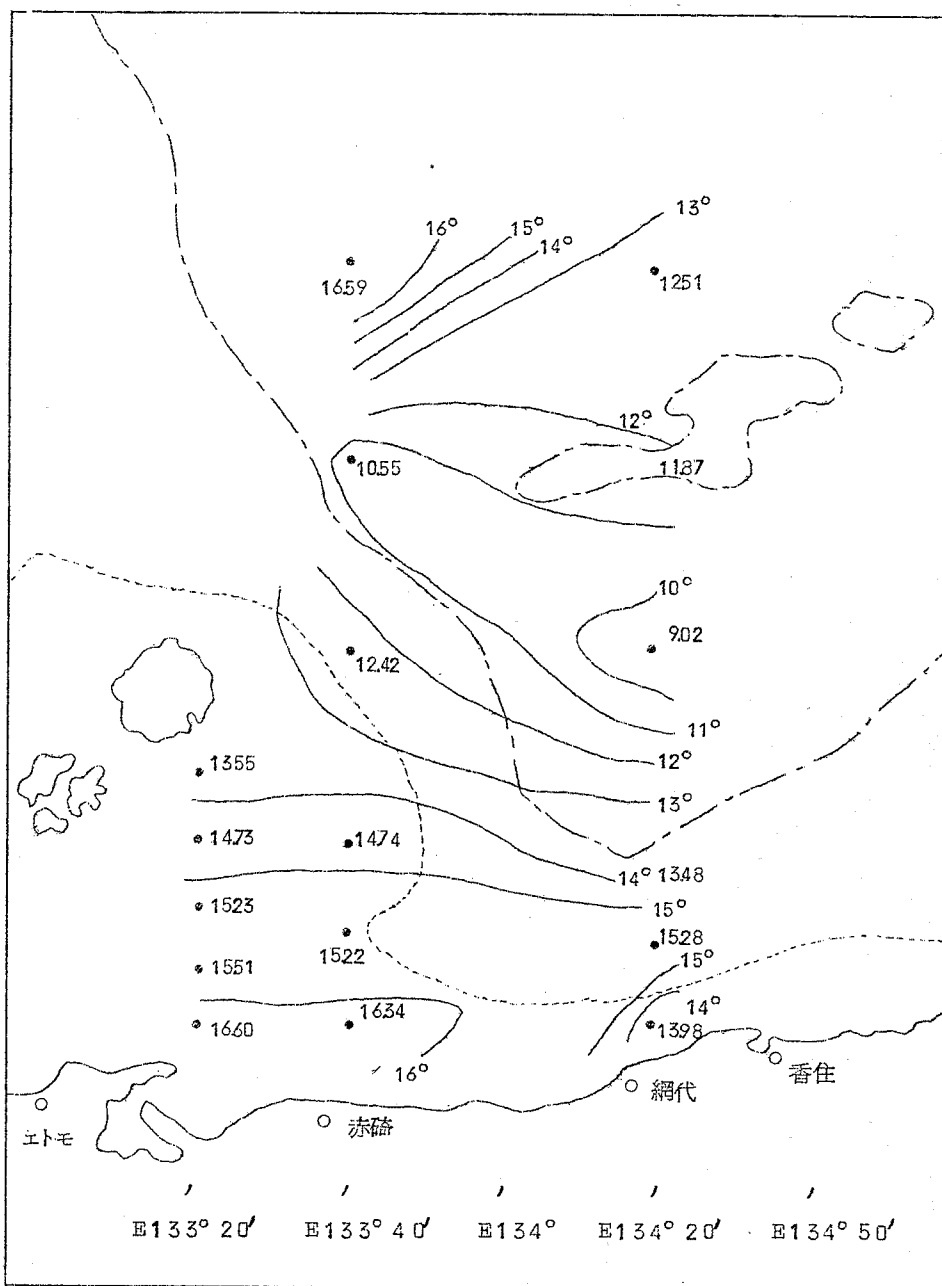


Fig 5 1964年12月 水温垂直分布图

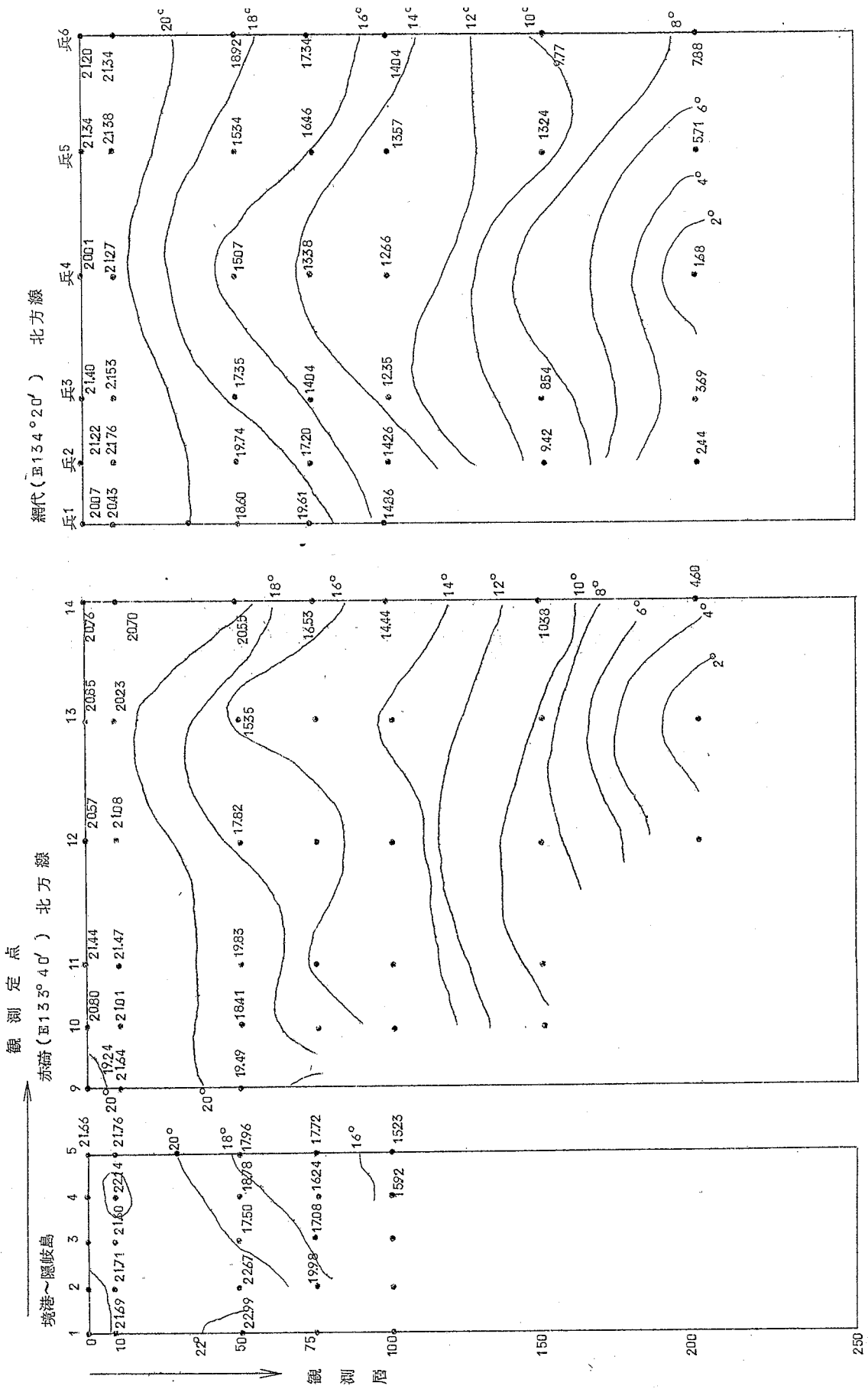


Fig 6 1964年12月 50m層 水温分布図

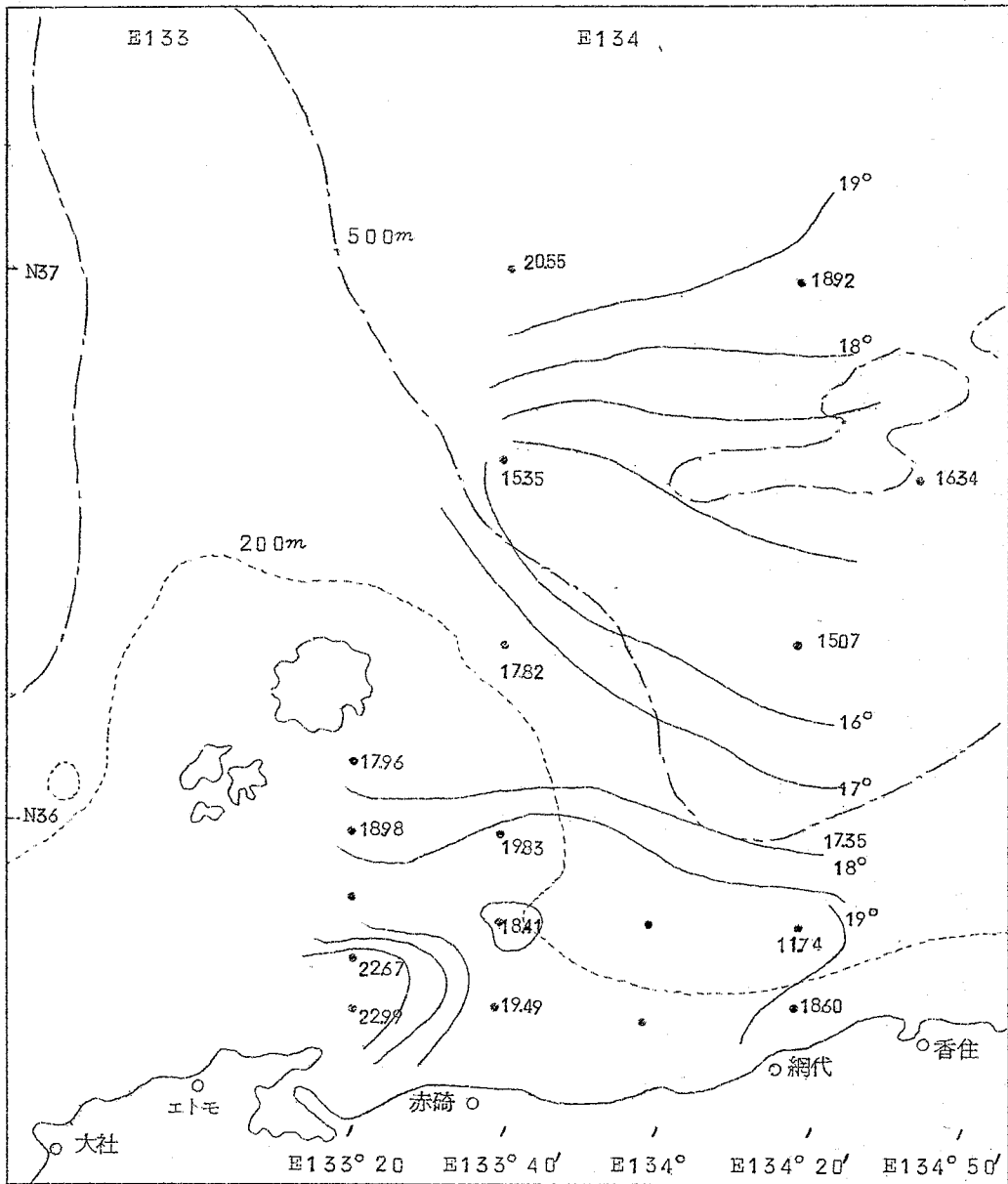


Fig 7 1964年12月 150m層 水温分布図

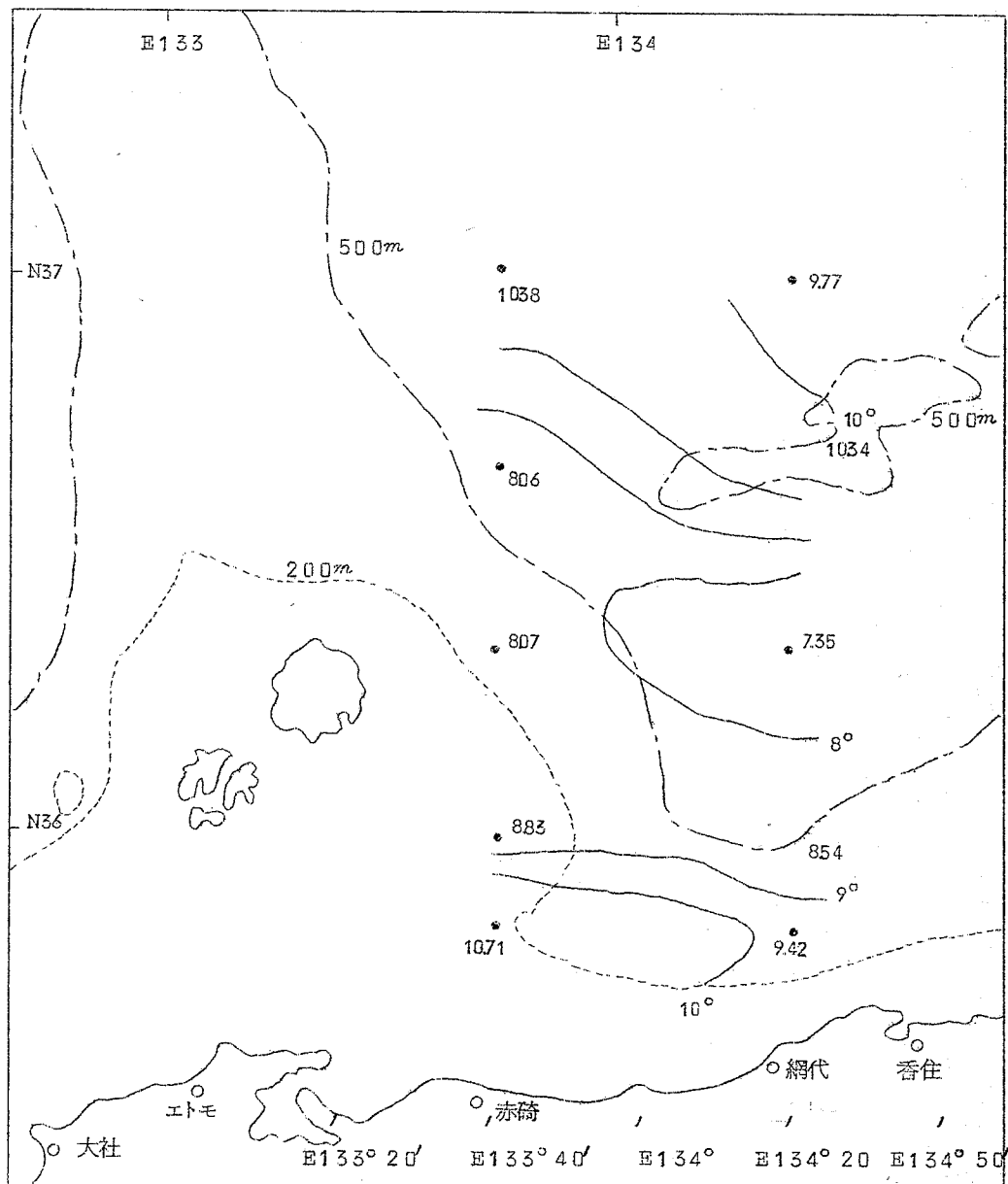
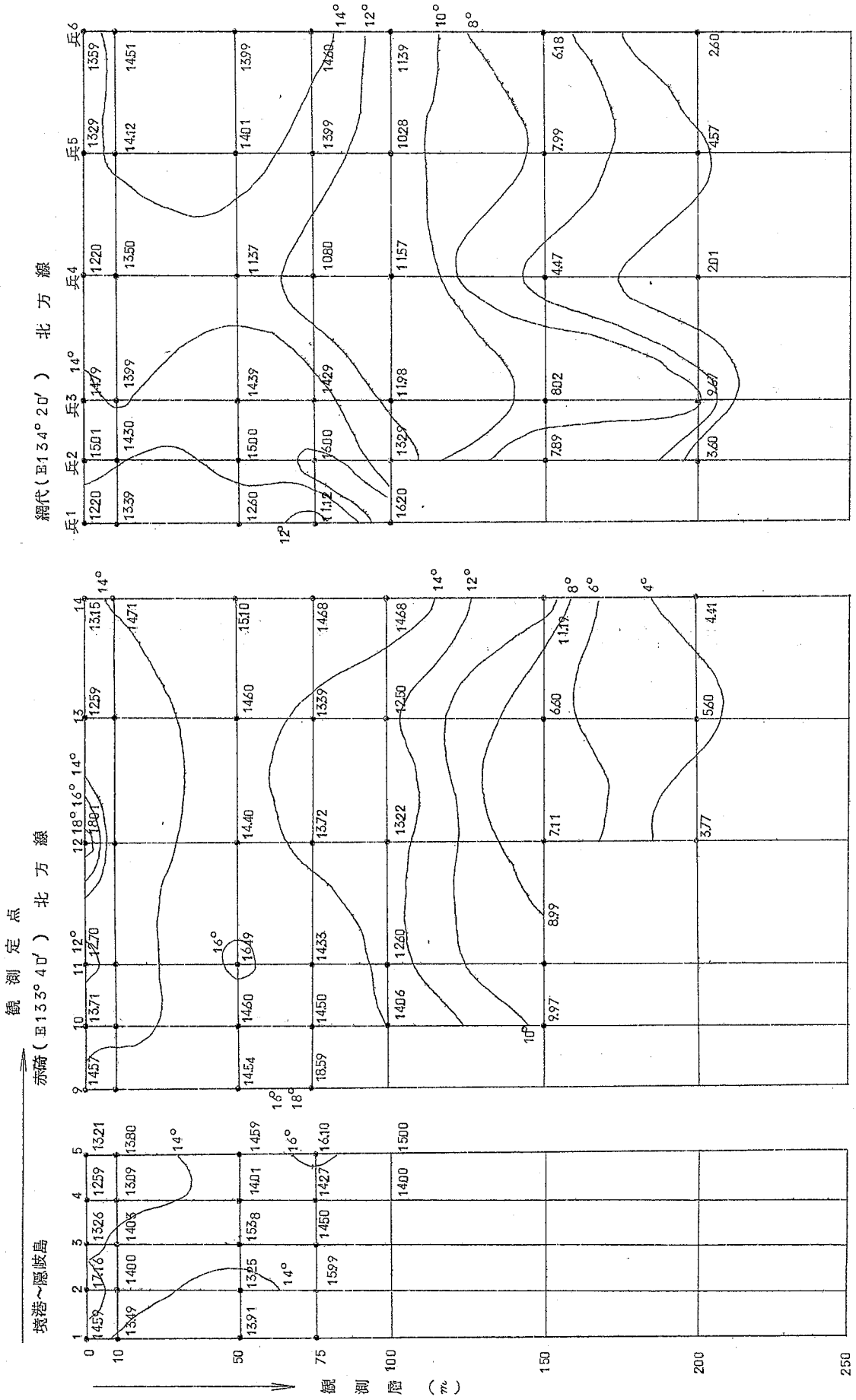


Fig 8 1965年1月 水温垂直分布图



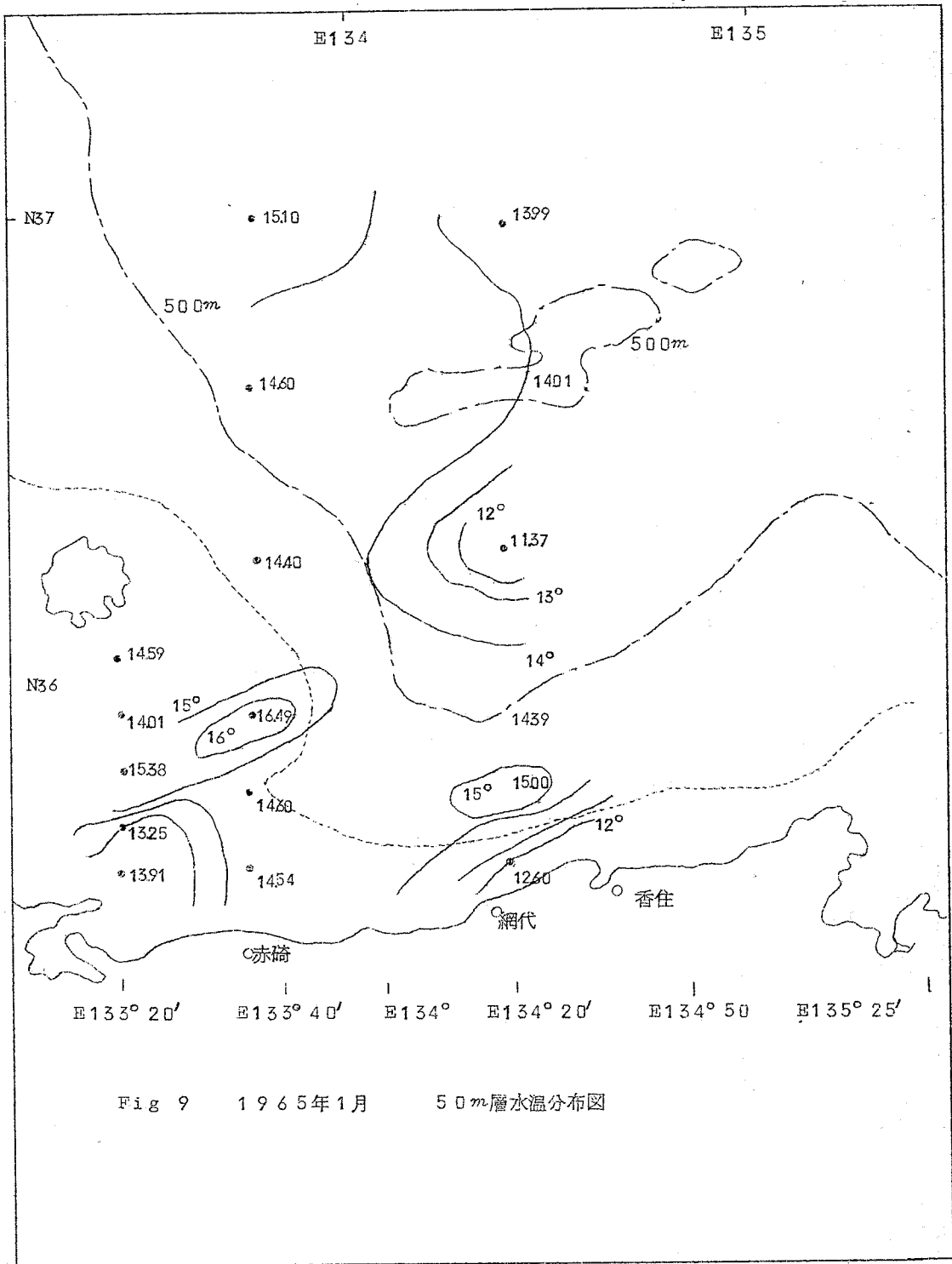


Fig 9 1965年1月 50m層水温分布図

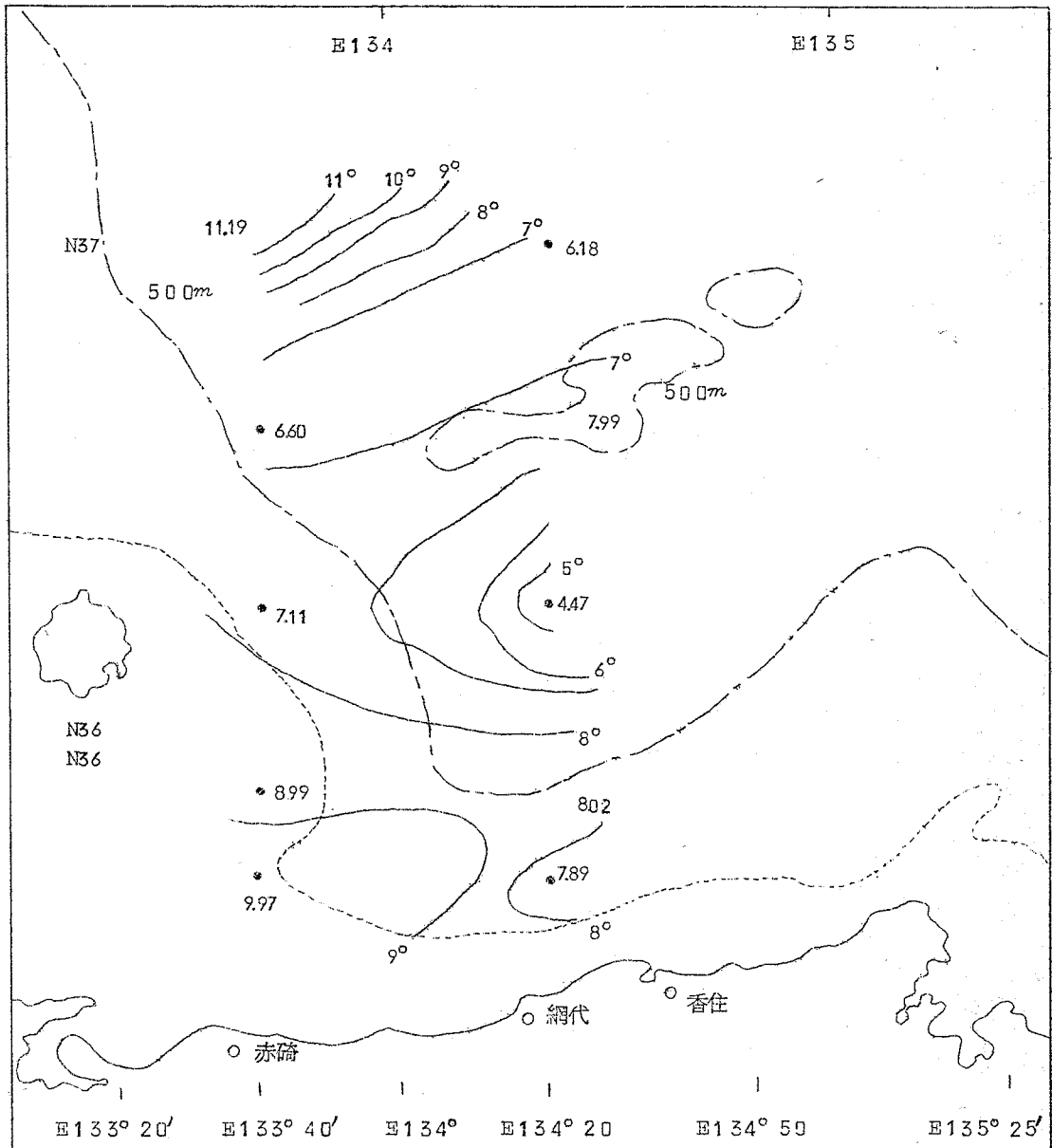
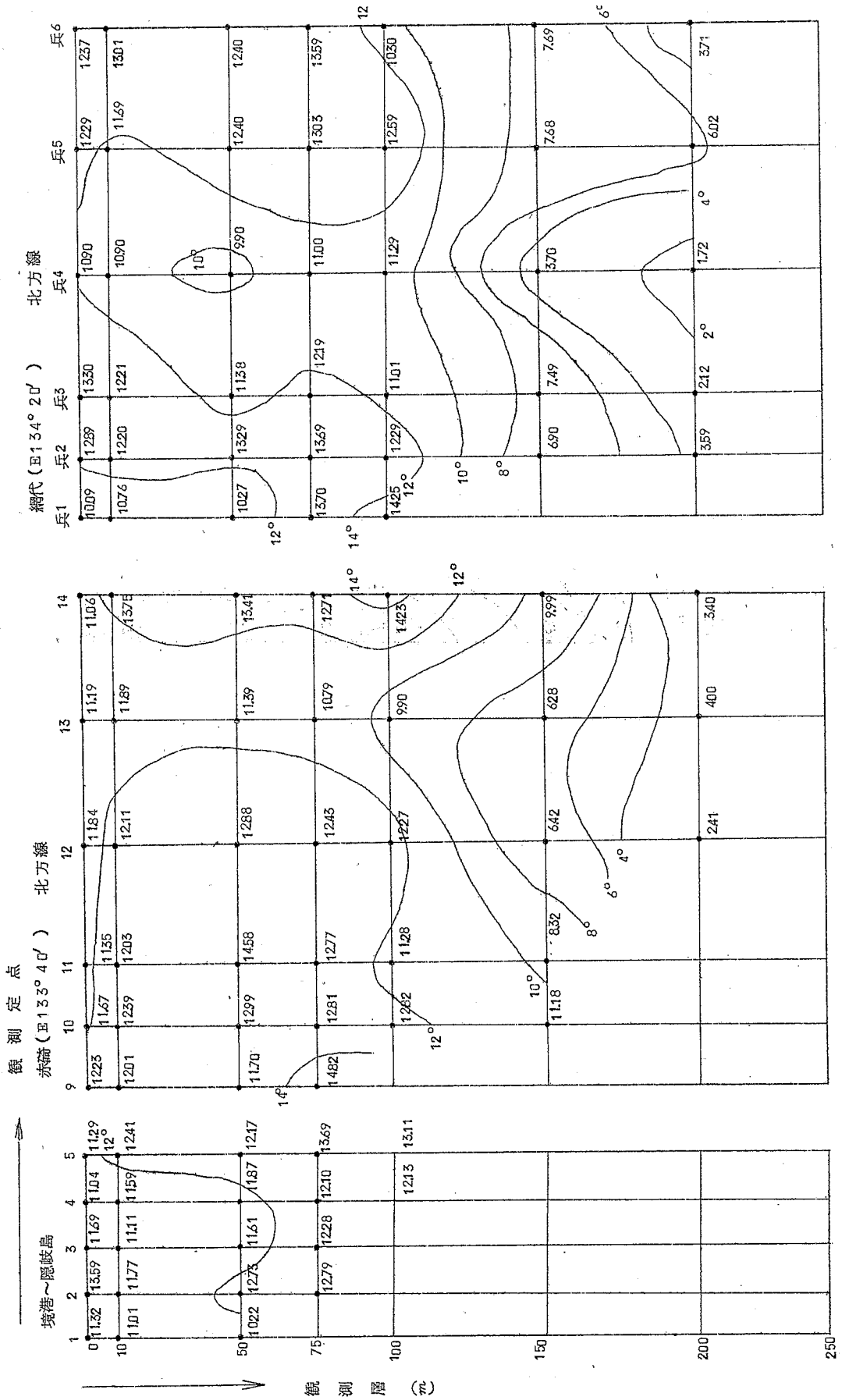


Fig 10 1965年1月 150m層水温分布図

Fig 11 1965年2月 水温垂直分布图



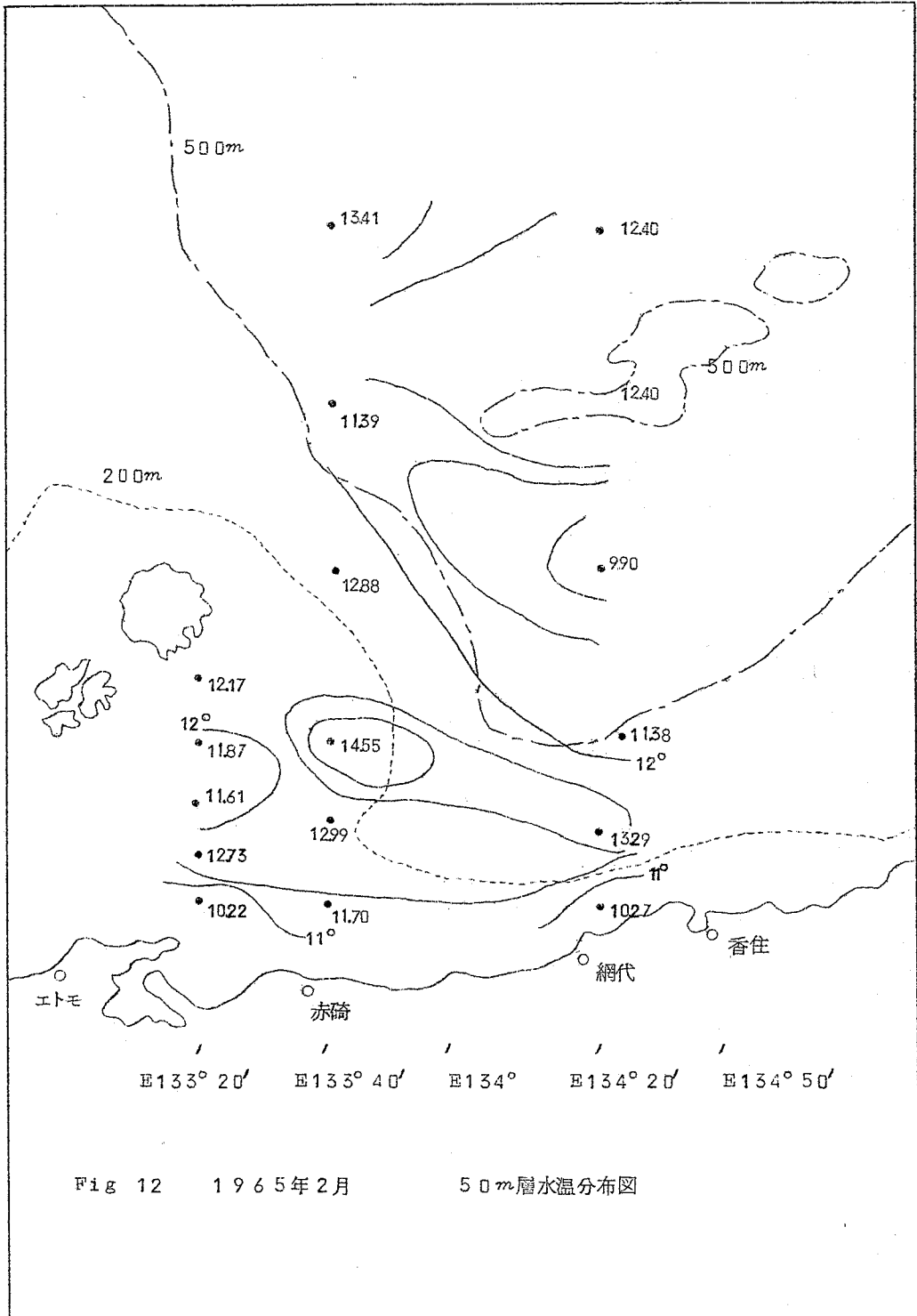


Fig 12 1965年2月 50m層水温分布図

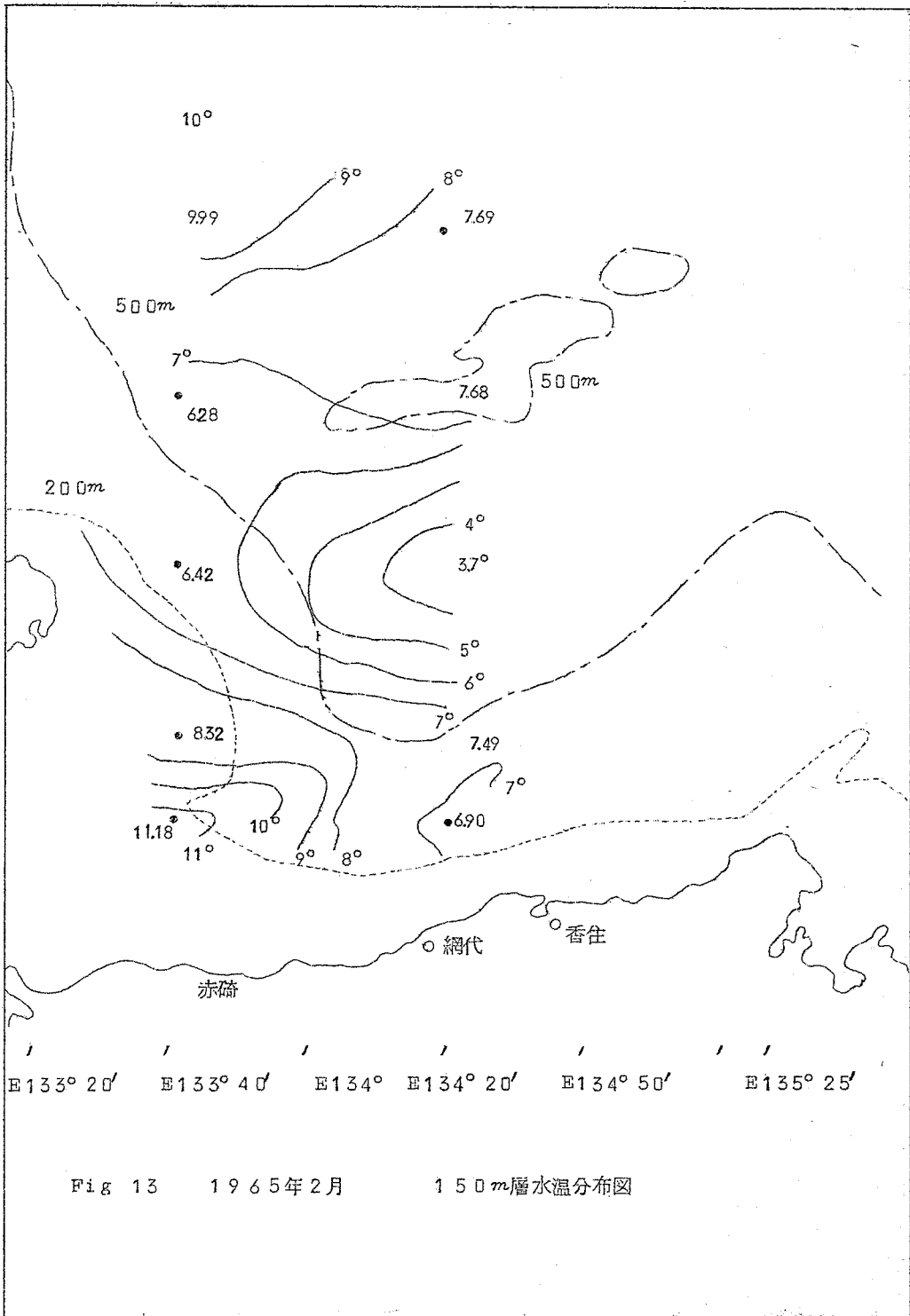


Fig 13 1965年2月 150m層水温分布図